

## 柳宗悦の民藝とその現代的な展開



柳 宗悦(所蔵:日本民藝館)

「民藝」「民芸」「ミンゲイ」とそのイメージ、捉えられ方は広く一般に拡散していますが、「民藝」とはそもそも何なののでしょうか。

思想家・宗教哲学者である柳宗悦の審美眼によって初めてその美しさを見出されたことから「民藝」は始まります。柳の死後55年の時を経てた現在、スローライフやエコなどの暮らしを見直す今日的状況のなかで、民芸も再び着目されるようになり、新しい時代のなかで民芸をどのように新しく活性化させるか、議論が行なわれています。しかし、民芸とは、柳とその同人たちによってつくられた用語であり、概念である以上、その本来の民藝が「どのようなものであったか」を知ることは極めて重要なことであると松井氏は考えます。本講演では、柳宗悦やアジアの工芸と製作者たちを考察の対象にしてきた人類学研究者・松井健氏が、民藝のもっとも中心となる内実を柳らの著作や活動から解き明かし、現代におけるその意味についてお話しします。

### 講師 松井 健（東京大学名誉教授）

1949年大阪市生まれ。京都大学人文科学研究所助手、神戸学院大学教養部助教授などを経て、東京大学東洋文化研究所教授。京都大学理学博士。人類学専攻。民族誌記述の方法論、西南アジア民族誌、自然をテーマとする人類学などを研究。近年、工芸についてのフィールドワークと、民藝、柳宗悦の研究を重点的におこなっている。主要著書『自然の文化人類学』（東京大学出版会、1997年）、『西南アジアの砂漠文化—生業のエートスから争乱の現在へ』（人文書院、2011年）、『民藝の擁護—基点としての<柳宗悦>』（里文出版、2014年）など。

### 開催概要

- 日時：2016年12月20日（火）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて  
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。